

平成29年度 学校経営計画

1 学校教育目標

夢と希望をもって、未来を拓く生徒の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- ・ 人権を尊重する生徒の育成
- ・ 自ら学ぶ生徒の育成
- ・ 心身ともに健全な生徒の育成

教育目標は、生徒一人一人が将来社会人として、こういう人になってほしいと願い、日々の教育活動を推し進めていくうえでの目標であるとともに、保護者、地域に本校の教育はこういう社会人を育てますと約束することである。本校の教育目標を具現化していくために「生徒一人一人が生き生きと活動し、安全で安心できる集団として活力と秩序を兼ね備えている学校」づくりを目指していく。

2 学校経営の基本的な考え

信頼関係の構築…生徒－生徒、生徒－教職員、教職員－教職員、教職員－保護者、教職員－地域
<目指す学校像>

- (1) 見える学校
- (2) 安全な学校
- (3) 規律ある学校
- (4) 向上心あふれる学校
- (5) 美しい学校

<支える教師像>

- (1) 生徒とともに歩む
- (2) 生徒の良さを引き出す
- (3) 危機意識を持って対応する
- (4) 研修意欲と実践力を持つ
- (5) 理解と誠実さで対応する
- (6) 全体の奉仕者としての使命と自覚を持つ

<期待する生徒像>

家庭・地域・学校に支えられ自主・自律の精神を身につけ、たくましく生きる生徒

- (1) 自分を大切にする生徒
- (2) 真剣に学び、自ら考え、判断し行動する生徒
- (3) 支え合い、励まし合う生徒
- (4) 礼儀を重んじ、気力・体力・活力ある生徒

3 中期的目標（おおた教育振興プラン2014）と方策

- (1) 学力向上アクションプラン…大田区学習効果測定の実績分析、学習カルテ・学習カウンセリング、小中一貫による学習指導の工夫、国際理解教育・理科教育の推進、日本語指導の充実
- (2) 豊かな心を育むアクションプラン…道徳教育の充実、子どもの心サポート月間、問題行動対策の充実、小中一貫の視点に立った生活指導の充実、教育相談員・SC・SSWの活用、適応指導教室での学習指導、体験学習の充実
- (3) 体力向上アクションプラン…小中一貫の視点に立った体力向上、一校一取組運動、食育の推進、部活動推進、保護者・地域への啓発
- (4) 教育環境向上アクションプラン…授業改善セミナー・理科授業力向上研修・特別支援学級等・学校図書館の充実、特別支援教育・ICT教育の推進、学校施設の改修
- (5) 家庭・地域の教育力向上アクションプラン…学校支援地域本部の充実、青少年育成活動支援
- (6) 地域力育成アクションプラン…生涯学習リーダー育成、図書館を活用した学習環境整備、地域スポーツクラブの運営支援

4 今年度の重点（短期経営目標と方策）「向上心あふれる学校」

スローガン「**蓮中維新 躍進**」

- ・よき伝統は踏襲しながら、新しい蓮沼中学校を生徒・教職員・保護者・地域が一体となって創る。
- ・維新に取り組んだ成果をさらに発展させ、学校としての躍進を図る。

(1) 今年度の重点目標と目標達成のための具体的方策

<教科>

- ① 年間指導計画の評価基準に基づいた授業の実践
- ② **主体的に取り組む授業の推進（4人組グループ学習の実施）**
- ③ 基礎・基本の定着と**わかる授業の展開**
- ④ 各学力調査の分析と授業改善推進プランの策定と実践
- ⑤ 学習指導講師の活用と補習授業と個別指導の充実
- ⑥ ICT機器の活用（「いつでも どこでも だれでも ICT」を目指す）
- ⑦ 数学・英語における東京ガイドラインや区の方針にそった習熟度別少人数授業の展開
- ⑧ 体育を中心とした小中連携での体力向上プログラムの実践
- ⑨ **基礎学力コンテストの実施**（漢字コンテスト、計算コンテスト、スペリングコンテスト、都道府県県庁所在地コンテスト、化学記号コンテスト等）
- ⑩ 全校学力コンテストの実施（漢字コンテスト、計算コンテスト、スペリングコンテスト）
- ⑪ 全教科を通じての家庭学習の定着と家庭への啓蒙（**具体的な方策を考える**）

<道徳>

- ① 道徳教育推進教師を中心として年間指導計画に基づいた道徳教育の推進
- ② 教科化への準備（4人組グループ学習の推進）
- ③ 人権教育、生命尊重教育の充実
- ③ 道徳授業地区公開講座の充実
- ④ 全教育活動を通じての自己肯定感の向上

<特別活動>

- ① 生徒の居場所づくり
- ② 集団活動を通じての豊かな人間関係の構築
- ③ Q U調査の分析と活用
- ④ 学校行事等生徒の主体的活動の場の提供
- ⑤ 地域活動の活性化とボランティア活動の充実

<総合的な学習の時間>

- ① 体験学習の充実
- ② 学び方や考え方を身につけ、課題解決や探究活動に主体的に取り組む態度の育成
- ③ 他文化共生・国際理解教育の充実
- ④ 特別支援学級との交流
- ⑤ **オリンピック・パラリンピック教育のさらなる推進と充実**

<生活指導>

- ① 基本的生活習慣の定着「**あたりまえのことをあたりまえに**」
- ② 規範意識向上プログラムを活用した問題行動の未然防止
- ③ いじめ・差別・暴力を許さない**自他を尊重する態度の育成**
- ④ 防犯・防災教育を含む安全指導の充実
- ⑤ スクールカウンセラー等の活用による不登校の未然防止と解消のための支援体制の確立
- ⑥ **不登校対策モデル校としての諸機関との連携、ケース会議の充実**
- ⑦ 特別支援教育の充実
- ⑧ 学級指導や生徒会指導を通じての自治意識の向上

⑨ 連絡を密にして、共通理解のもと共通実践による生活指導

<進路指導>

- ① **3年間を見通したこれからの進路指導計画の確立**
- ② 進路指導計画のもとに一人一人が主体的に進路を選択できる能力の育成
- ③ キャリア教育を通じての生き方教育の推進
- ④ 情報の収集と共有
- ⑤ 情報活用スキルの向上

(2) 地域・家庭との連携

- ① 地域・保護者が学校とともに生徒の健全育成を図る好ましい関係の構築
- ② 保護者が来校しやすい学校の雰囲気づくり
- ③ 各種通信の発行、ホームページの充実など学校情報の発信
- ④ P T A活動、地域行事に対する積極的な教職員・生徒のかかわり
- ⑤ 保護者等の学校評価の実施
- ⑥ 地域に愛される学校づくり
- ⑦ **中高連携教育の推進 (都立大森高校との連携の強化)**
- ⑧ **スクールサポート連沼の正常化**

(3) 服務規律の厳正

- ① 服務事故は絶対に起こさない。
- ② 教育公務員としてのふさわしい言動
- ③ 来校者、学校への問い合わせに対する丁寧、親切な対応
- ④ 会計処理の明確化
- ⑤ 個人情報管理の徹底

(4) 目指す学校像に対する成果指標

【見える学校】 地域・保護者との連携と地域の学校としての確立

- ・学校公開（年3回）を魅力的なものとし、保護者の参観を昨年度より10%増。
- ・学校便り（毎月）学年便り（**毎週発行**）を充実させ、情報発信し、返信欄を設け、保護者・地域の考えも取り入れる。（**返信欄活用の工夫**）
- ・防災拠点としての充実と地域ぐるみの防災訓練の実施
- ・地域行事へのボランティア参加率を昨年度比**20%増**。**生徒の意識向上を図る。**

【安全な学校】 生徒の基本的な生活習慣の定着と学習環境の確保

- ・家庭との連携・協力を密にし、信頼関係を築くとともに家庭生活の安定を図る。
- ・いじめ防止対策委員会を充実させ、S Cを積極的に活用し、いじめ0を目指し、早期発見・早期解決に努める。
- ・**不登校対策委員会を充実させ、S C・S S Wを積極的に活用し、児童相談所・警察・子ども家庭支援センター・医療機関との連携を密にし、ケース会議を充実させ、不登校出現率を3.4%以下にする。**
- ・特別な支援を要する生徒には、個別支援計画を6月までに作成すると同時に、支援員を有効的に活用し、個別指導の充実を図る。

【規律ある学校】 生徒の規範意識の向上と自律

- ・チャイム着席の定着と授業規律の徹底を行う。（年間）
- ・毎朝、校門に立ち自ら積極的に挨拶や声掛けを行い、挨拶と笑顔のあふれる学校。（年間）
- ・全校生徒が、毎日の「朝読書」を集中して実施することをめざす。（毎朝確認）

- ・生徒会活動や学級活動を活性化させ、生徒の手による学校での規律を徹底させながら、生徒の居場所づくりを推進し、生徒に成就感や達成感を味あわせる。(4人組グループの活用)
- ・全校体制で組織的にあきらめない生活指導・予防的な生活指導を展開する。
- ・「ほう・れん・そう」の徹底
- ・「見放さない」「切り捨てない」「決めつけない」指導の展開

【向上心あふれる学校】 生徒の学習に対する基礎・基本の定着と意欲の向上

- ・家庭学習の定着率80%。(生徒アンケートより)
- ・補習教室を週2回実施し、土曜補習や遅進生徒対象の学習教室を設け、意欲的に学ぶ機会を持たせる。参加生徒への呼びかけの強化と内容の充実
- ・各教科で、生徒の活動や体験を重視した授業を展開し、学ぶ意欲を高め、言語活動の充実を図る。わかりやすい授業85%、真剣に取り組む生徒80%。(4人組グループ学習の推進)
- ・各種学習コンテストを実施し、基礎の定着を図り、達成感を体験させる。

【美しい学校】 学びの場としての環境整備

- ・道徳授業や学校行事、地域ボランティアの体験から、他者を思いやる心を育て、内面の美しい生徒の育成に努める。
- ・美化活動や掲示教育を重視し、ごみのない学校として環境整備を推進する。
- ・ICT機器を利用した授業の推進のため、研修への積極的な参加。
- ・各教室の整理整頓

(5) 支える教師像に対する成果指標

【生徒とともに歩む教師】

- ・生徒に迎合するのではなく、生徒の話に耳を傾けているか。
- ・日頃から生徒や保護者とのコミュニケーションを大切にしているか。
- ・自らの誤りについて、生徒に素直に謝っているか。

【生徒の良さを引き出す教師】

- ・生徒に対して、注意や指導ばかりしていないか。
- ・生徒の良さを見つけ、小さなことでもほめたり、感謝したりしているか。
- ・生徒の活動すべてに口を出しすぎしていないか。

【危機意識を持って対応する教師】

- ・あらゆる場面・状況を想定して、最悪の事態を考えた計画を立てているか。
- ・生徒の観察を怠らず、小さな変化も見逃していないか。

【研修意欲と実践力を持つ教師】

- ・生徒の基礎学力の定着が不十分なことを生徒だけのせいにしていないか。
- ・生徒の学習意欲がないことや家庭学習が習慣化していないことを生徒や家庭だけのせいにしていないか。
- ・研修等に積極的に参加しているか。

【理解と誠実さで対応する教師】

- ・生徒・保護者の立場に立って、ものごとを考えることができるか。
- ・生徒・保護者の話を最後まで誠意を持って、聞いているか。

【全体の奉仕者としての使命と自覚を持つ教師】

- ・公務員は法の下、職務を遂行していることを意識しているか。
- ・不適切な言動・行き過ぎた指導・体罰について理解しているか。